

○マイホームをつくるなら

家を建てるときは、資金計画、土地、間取りや設計など、考えなければならないことが、たくさんあります。なかでも「実際に家の建築をする会社はどこを選ぶか？」は、特別重視したい部分です。

家の建築をする会社は、大きく分けて次の3つが挙げられます。

- ・大手ハウスメーカー
- ・工務店
- ・設計事務所

「どこに頼んでも、家づくりのプロなんだから同じじゃないの？」と思われるかもしれません。

もちろん同じプロですが、実際よく調べてみると、各社それぞれに特徴があり、違いがあるのです。

ここでは、主に、大手ハウスメーカーと工務店の特徴を比較しながら、皆様と家づくりについて考えていきたいと思います。



○各社の特徴～①大手ハウスメーカー

大手ハウスメーカーの最大の特徴は、会社の規模が大きく、知名度が高い、ということです。テレビCMなどで強力な広告宣伝をしているため、会社名はかなり浸透していると言えるでしょう。一部上場している企業が多く、会社としての安定感も魅力の一つです。住宅に商品名をつけて、全国的にブランド展開をしているものもあり、ブランド指向の強い層にアピールしています。

CMでは、広い間取りに洒落たインテリアと美しい庭がある、夢のような住まいが登場します。そこで、親子に扮したモデルたちが、幸せそうな家族の姿を演じています。

このような家を体感できるのが、大規模な住宅展示場にある贅を尽くしたモデルハウスです。CMの「夢の暮らし」を実際に目で見て、豪華なパンフレットを手にとると、家づくりへの憧れが一層ふくらむのではないのでしょうか。

人材が豊富なことも、大手ならではの強みです。人当たりがよく、話しやすい営業マンや、洗練されたコーディネートをアドバイスできるインテリアコーディネーターがいて、マイホームへの夢を実現すべく、あれこれプランを出してくれます。

資金計画から家の設計まで、「大きな会社はすべて揃っている」という安心感を覚えられることも、メリットだと言えるでしょう。

○各社の特徴～②工務店

工務店の規模は、大工さん一人で経営しているような小さい所から、百人以上の従業員で年間1000棟ほどの家を建てている会社まで、いろいろあります。しかし、大手ハウスメーカーのように全国的なCMを放映するような規模のものではなく、いわゆるブランド力には欠けると言わざるを得ないでしょう。

モデルハウスを持っている工務店もありますが、大手ハウスメーカーと比べると、そこまで豪華なものでもなく、スーツをさっそうと着こなし、話術を訓練された営業マンもいないか、いてもごくわずかです。

それでも、工務店で家を建てよう、という人は大勢います。「建てて良かった」という、喜びの声も多く聞かれます。

なぜなら、工務店の最大の特徴は、「地域密着」であるからです。

社長から社員、職人までが地元に住み、会社の看板を背負って仕事をしています。もし変な評判でも立ったら、地元で生き残ることはできません。ですから何事も真剣勝負、手抜き工事などもってのほかです。

お客様の要望に、きめ細かく応えてくれるのも工務店の利点です。大手ハウスメーカーでは敷居が高くて、相談しにくいような些細なことも、親身になって聞いてくれます。

例えば、大した金額にならないような、ちょっとした注文にも応じてくれるとか、困ったことがあったら、電話1本ですぐかけつけてくれる、などということです。

地元で長年続く会社が多いので、地域情報もよく知っています。病院や学校、保育園、公共施設のことなど、特に引っ越ししてくる人には、心強い味方となるでしょう。

工務店は、地域での信用と実績で成り立っています。

したがって、必要以上の過大な宣伝をしたり、豪華なパンフレットを作ったりはしません。つまり、広告宣伝費に多くのお金をかけません。

また、大勢の営業マンを雇うこともありませんし、出店費用の高額な、大規模住宅展示場にモデルハウスを建てたりもしません。そうして広告宣伝費や経費を抑えることによって、住宅そのものを、適正価格でお客様に提供できるのです。

ですから、同等レベルの住宅の価格を比較した場合、広告宣伝費、人件費にお金をかける大手ハウスメーカーより、工務店の方が良心価格である、ということがよくあることなのです。